



2023年6月期 決算短信(日本基準)(連結)

2023年7月24日

上場会社名 Genky DrugStores株式会社
 コード番号 9267 URL <http://www.genkydrugstores.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤永 賢一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務・IR部長 (氏名) 常見 武史

TEL 0776-67-5240

定時株主総会開催予定日 2023年9月7日 配当支払開始予定日

2023年9月8日

有価証券報告書提出予定日 2023年9月8日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期の連結業績(2022年6月21日～2023年6月20日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期	169,059	9.3	6,709	18.2	7,079	16.3	4,764	7.8
2022年6月期	154,639		5,675		6,087		4,420	

(注) 包括利益 2023年6月期 4,796百万円 (9.2%) 2022年6月期 4,393百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年6月期	313.84	313.59	12.4	7.0	4.0
2022年6月期	291.23	290.88	12.9	6.5	3.7

(参考) 持分法投資損益 2023年6月期 百万円 2022年6月期 百万円

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を前連結会計年度の期首から適用しております。

このため、2022年6月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年6月期	105,912	40,681	38.3	2,674.34
2022年6月期	97,118	36,233	37.3	2,383.41

(参考) 自己資本 2023年6月期 40,607百万円 2022年6月期 36,186百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年6月期	8,773	9,736	854	5,329
2022年6月期	6,076	10,588	2,037	5,438

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年6月期		12.50		12.50	25.00	379	8.6	1.1
2023年6月期		12.50		12.50	25.00	379	8.0	1.0
2024年6月期(予想)		12.50		12.50	25.00		7.7	

3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年6月21日～2024年6月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	89,500	6.7	3,450	2.5	3,600	1.1	2,340	3.0	154.11
通期	180,000	6.5	7,000	4.3	7,250	2.4	4,900	2.8	322.71

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年6月期	15,484,384 株	2022年6月期	15,482,884 株
期末自己株式数	2023年6月期	300,414 株	2022年6月期	300,380 株
期中平均株式数	2023年6月期	15,182,958 株	2022年6月期	15,179,544 株

(参考)個別業績の概要

2023年6月期の個別業績(2022年6月21日～2023年6月20日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期	619	95.0	422	272.7	898	47.0	705	71.7
2022年6月期	318	0.0	113	19.7	611	177.6	411	211.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期	46.50	46.46
2022年6月期	27.09	27.06

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年6月期	22,009	21,774	98.6	1,429.15
2022年6月期	21,930	21,417	97.4	1,407.50

(参考) 自己資本 2023年6月期 21,700百万円 2022年6月期 21,369百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2022年6月21日から2023年6月20日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、行動制限の緩和等により経済正常化に向けた動きが見られました。しかしながらウクライナ情勢の長期化に伴う原材料コストの上昇、エネルギー価格の高騰等により、景気の先行きは依然として不透明な状態で推移いたしました。

当社グループが属するドラッグストア業界におきましては、業態を超えた競争や競合各社の出店攻勢も続いていること等から、厳しい環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは「近所で生活費が節約できるお店」をコンセプトに、地域シェアを高めるためドミナントエリア構築に邁進いたしました。また、お客様の節約志向に応えるため青果や精肉等の生鮮食品の品揃えを強化するとともに、生活必需品のディスカウントに尽力いたしました。

当連結会計年度における新規出退店につきましては、R店を愛知県に10店舗、滋賀県に8店舗、石川県に5店舗、岐阜県に4店舗、福井県に3店舗出店いたしました。また、大型店を7店舗閉店し、3店舗をR店へ改装いたしました。これにより、当連結会計年度における店舗数は、R店352店舗、大型店57店舗の計409店舗となりました。

この結果、当連結会計年度における売上高は1,690億59百万円と前連結会計年度に比べ144億19百万円(9.3%)増加いたしました。利益に関しましては、経常利益は70億79百万円と前連結会計年度に比べ9億92百万円(16.3%)の増益、親会社株主に帰属する当期純利益は47億64百万円と前連結会計年度に比べ3億44百万円(7.8%)の増益となりました。

次に、当連結会計年度における業態別の売上高を見ますと、「R店」1,277億74百万円、「大型店」410億87百万円、「その他」1億97百万円となりました。また、商品別の内訳では、「食品」1,146億70百万円、「雑貨」215億7百万円、「化粧品」166億64百万円、「医薬品」150億3百万円、「その他」12億12百万円となりました。

業態別売上状況は次のとおりであります。

区分	前連結会計年度		当連結会計年度		増減	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減率(%)
R店	106,434	68.8	127,774	75.6	21,340	20.1
大型店	48,029	31.1	41,087	24.3	△6,941	△14.5
その他	176	0.1	197	0.1	21	12.2
計	154,639	100.0	169,059	100.0	14,419	9.3

商品別売上状況は次のとおりであります。

区分	前連結会計年度		当連結会計年度		増減	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減率(%)
食品	102,545	66.3	114,670	67.8	12,125	11.8
雑貨	20,454	13.2	21,507	12.7	1,052	5.1
化粧品	16,059	10.4	16,664	9.9	604	3.8
医薬品	14,396	9.3	15,003	8.9	607	4.2
その他	1,182	0.8	1,212	0.7	29	2.5
計	154,639	100.0	169,059	100.0	14,419	9.3

(注) 当連結会計年度より商品区分を一部変更しており、前年同期比については、変更後の区分に組み替えた数値で比較しております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ87億94百万円増加し、1,059億12百万円となりました。その主な要因は、売掛金が11億25百万円、商品が15億10百万円、有形固定資産が58億44百万円増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ43億46百万円増加し、652億31百万円となりました。その主な要因は買掛金が16億27百万円、1年内返済予定の長期借入金が10億61百万円、資産除去債務が15億51百万円増加したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ44億47百万円増加し、406億81百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億8百万円減少し、53億29百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の営業活動の結果得られた資金は、87億73百万円（前年同期は60億76百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益67億4百万円、減価償却費49億55百万円があった一方で、棚卸資産の増加15億79百万円、法人税等の支払による支出20億42百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の投資活動の結果使用された資金は、97億36百万円（前年同期は105億88百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出98億91百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の財務活動の結果得られた資金は、8億54百万円（前年同期は20億37百万円の収入）となりました。これは主に、長期借入れによる収入110億53百万円と、長期借入金の返済による支出97億99百万円、配当金の支払3億79百万円によるものであります。

（参考） キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年6月期	2020年6月期	2021年6月期	2022年6月期	2023年6月期
自己資本比率 (%)	37.3	33.3	35.4	37.3	38.3
時価ベースの自己資本比率 (%)	58.2	62.6	63.7	50.4	62.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	5.0	4.1	2.4	5.1	3.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	85.5	108.8	179.6	81.1	123.4

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー/利払い

- (注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。
 2. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、リース債務を除く利子を支払っている負債を対象としております。
 3. 営業キャッシュ・フロー及び利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を用いております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、原材料価格の高騰や物価上昇等により、先行き不透明な状況が継続すると考えられます。

ドラッグストア業界におきましては、出店の拡大に伴う競争の激化、業種や業態を超えた価格競争等により厳しい経営環境が続くものと予想しております。

このような状況のもと、当社グループはお客様の節約志向に応えるべく、EDLP（エブリディロープライス）政策を推進いたします。これにより他のドラッグストアとの差別化を図り、集客力の向上及び一層の地域シェアの拡大を目指してまいります。

第7期（2024年6月期）は39店舗の新規出店を計画しており、既存店におきましてはスクラップ&ビルドの推進及び店舗改装を行い、活性化を図ってまいります。

以上により、通期連結業績見通しといたしましては、売上高1,800億円（前連結会計年度比6.5%増）、営業利益70億円（同4.3%増）、経常利益72億50百万円（同2.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては49億円（同2.8%増）を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であるため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月20日)	当連結会計年度 (2023年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,438	5,329
売掛金	2,799	3,925
商品	20,798	22,308
原材料及び貯蔵品	113	182
未収入金	2,014	2,259
その他	350	407
流動資産合計	31,514	34,413
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	48,736	52,114
機械装置及び運搬具（純額）	204	191
工具、器具及び備品（純額）	4,949	4,688
土地	2,994	3,734
リース資産（純額）	22	151
建設仮勘定	2,353	4,224
有形固定資産合計	59,260	65,104
無形固定資産	374	363
投資その他の資産		
投資有価証券	28	73
長期貸付金	591	554
繰延税金資産	1,698	1,840
差入保証金	3,397	3,326
その他	252	237
投資その他の資産合計	5,969	6,031
固定資産合計	65,604	71,499
資産合計	97,118	105,912

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月20日)	当連結会計年度 (2023年6月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,564	22,192
1年内返済予定の長期借入金	10,180	11,242
リース債務	17	19
未払金	4,629	4,428
未払法人税等	964	1,039
預り金	207	206
契約負債	479	518
賞与引当金	105	136
資産除去債務	—	66
その他	498	265
流動負債合計	37,647	40,116
固定負債		
長期借入金	20,754	20,946
リース債務	8	147
資産除去債務	2,199	3,751
その他	273	268
固定負債合計	23,236	25,114
負債合計	60,884	65,231
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,008	1,010
資本剰余金	6,424	6,426
利益剰余金	29,531	33,917
自己株式	△789	△789
株主資本合計	36,174	40,564
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11	42
その他の包括利益累計額合計	11	42
新株予約権	47	74
純資産合計	36,233	40,681
負債純資産合計	97,118	105,912

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年6月21日 至 2022年6月20日)	当連結会計年度 (自 2022年6月21日 至 2023年6月20日)
売上高	154,639	169,059
売上原価	123,685	134,505
売上総利益	30,954	34,553
販売費及び一般管理費	25,279	27,844
営業利益	5,675	6,709
営業外収益		
受取利息	9	8
受取賃貸料	302	314
受取手数料	292	310
固定資産受贈益	78	40
投資有価証券売却益	25	—
その他	83	102
営業外収益合計	789	776
営業外費用		
支払利息	59	70
賃貸費用	200	206
解約違約金	—	45
その他	117	84
営業外費用合計	377	406
経常利益	6,087	7,079
特別利益		
新株予約権戻入益	0	1
固定資産売却益	1	10
国庫補助金受贈益	5	—
特別利益合計	6	12
特別損失		
固定資産除却損	2	10
減損損失	7	376
特別損失合計	10	387
税金等調整前当期純利益	6,083	6,704
法人税、住民税及び事業税	1,776	2,095
法人税等調整額	△113	△155
法人税等合計	1,663	1,939
当期純利益	4,420	4,764
親会社株主に帰属する当期純利益	4,420	4,764

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年6月21日 至 2022年6月20日)	当連結会計年度 (自 2022年6月21日 至 2023年6月20日)
当期純利益	4,420	4,764
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27	31
その他の包括利益合計	△27	31
包括利益	4,393	4,796
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	4,393	4,796
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年6月21日 至 2022年6月20日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000	6,415	25,479	△789	32,105
会計方針の変更による累積的影響額			11		11
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,000	6,415	25,490	△789	32,117
当期変動額					
新株の発行（新株予約権の行使）	8	8			16
剰余金の配当			△379		△379
親会社株主に帰属する当期純利益			4,420		4,420
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					—
当期変動額合計	8	8	4,041	△0	4,057
当期末残高	1,008	6,424	29,531	△789	36,174

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	38	38	21	32,166
会計方針の変更による累積的影響額				11
会計方針の変更を反映した当期首残高	38	38	21	32,177
当期変動額				
新株の発行（新株予約権の行使）				16
剰余金の配当				△379
親会社株主に帰属する当期純利益				4,420
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△27	△27	25	△1
当期変動額合計	△27	△27	25	4,056
当期末残高	11	11	47	36,233

当連結会計年度(自 2022年6月21日 至 2023年6月20日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,008	6,424	29,531	△789	36,174
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	2	2			4
剰余金の配当			△379		△379
親会社株主に帰属する当期純利益			4,764		4,764
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	2	2	4,385	△0	4,389
当期末残高	1,010	6,426	33,917	△789	40,564

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	11	11	47	36,233
当期変動額				
新株の発行(新株予約権の行使)				4
剰余金の配当				△379
親会社株主に帰属する当期純利益				4,764
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	31	31	26	57
当期変動額合計	31	31	26	4,447
当期末残高	42	42	74	40,681

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年6月21日 至 2022年6月20日)	当連結会計年度 (自 2022年6月21日 至 2023年6月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	6,083	6,704
減価償却費	4,592	4,955
固定資産除却損	2	10
減損損失	7	376
解約違約金	—	45
固定資産売却益	△1	△10
国庫補助金受贈益	△5	—
新株予約権戻入益	△0	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△22	31
契約負債の増減額 (△は減少)	479	39
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△339	—
受取利息及び受取配当金	△9	△8
支払利息	59	70
売上債権の増減額 (△は増加)	△198	△1,125
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,522	△1,579
仕入債務の増減額 (△は減少)	948	1,627
未払金の増減額 (△は減少)	△1,077	172
その他	△867	△428
小計	8,129	10,878
利息及び配当金の受取額	9	8
利息の支払額	△74	△71
法人税等の支払額	△1,987	△2,042
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,076	8,773
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,463	△9,891
有形固定資産の売却による収入	45	75
無形固定資産の取得による支出	△43	△37
投資有価証券の売却による収入	35	—
差入保証金の差入による支出	△208	△90
差入保証金の回収による収入	5	158
国庫補助金の受入による収入	5	—
その他	35	49
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,588	△9,736
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	9,916	11,053
長期借入金の返済による支出	△7,481	△9,799
新株予約権の行使による株式の発行による収入	13	3
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△30	△23
配当金の支払額	△379	△379
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,037	854
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,474	△108
現金及び現金同等物の期首残高	7,913	5,438
現金及び現金同等物の期末残高	5,438	5,329

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは医薬品、化粧品、雑貨、食品等の小売業という単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

当連結会計年度(自 2022年6月21日 至 2023年6月20日)

1. 製品及びサービスごとの情報

当社グループは、医薬品、化粧品、雑貨、食品等の小売業という単一セグメントであり、当該事業の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%超であるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

当社グループは医薬品、化粧品、雑貨、食品等の小売業という単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年6月21日 至 2022年6月20日)	当連結会計年度 (自 2022年6月21日 至 2023年6月20日)
1株当たり純資産額	2,383円41銭	2,674円34銭
1株当たり当期純利益	291円23銭	313円84銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	290円88銭	313円59銭

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年6月21日 至 2022年6月20日)	当連結会計年度 (自 2022年6月21日 至 2023年6月20日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	4,420	4,764
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	4,420	4,764
普通株式の期中平均株式数(株)	15,179,544	15,182,958
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	18,237	12,120
(うち新株予約権(株))	(18,237)	(12,120)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調 整後1株当たり当期純利益の算定に含め なかった潜在株式の概要	第2回新株予約権 474個 (普通株式 47,400株)	第2回新株予約権 418個 (普通株式 41,800株)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。